

# 国際シンポジウム

## アジアの環境アセスメント訴訟の理論と実務 —司法アクセスの指標の作成に向けて—

会 期：2018年9月23日(日) 9:30 開場 10:00~18:20

会 場：大阪大学会館アセンブリーホール(豊中キャンパス)

使用言語：英語・日本語(同時通訳付)

主 催：大阪大学グリーンアクセスプロジェクト II 「環境法の参加原則に係る評価指標の検討—環境民主主義の確立に向けた国際連携構築」(科研費)、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ「SDGs指標の改善を通じた環境サステナビリティの促進」

9:30 **開場・受付**

10:00 **開会挨拶**

主催者挨拶 林 智良(大阪大学大学院法学研究科長)  
堂目 卓生(大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長)

来賓挨拶 寺西 俊一(日本環境会議 理事長)  
大塚 直(環境法政策学会 理事長)  
熊倉 基之(環境省 大臣官房 環境影響評価課長)

<b>司 会</b>	小林 光 山下 英俊	慶應義塾大学政策・メディア研究科 特任教授 一橋大学大学院経済学研究科 准教授
<b>報告 1</b>	大久保 規子 10:30-10:50 (20分)	大阪大学大学院法学研究科 教授 <b>環境アセス訴訟の国際動向(仮題)</b>
<b>報告 2</b>	柳 憲一郎 10:50-11:10 (20分)	明治大学法学部 教授 <b>日本における環境アセス訴訟の動向</b>
<b>報告 3</b>	鄧 海峰 11:10-11:30 (20分)	中国 清華大学法学院 副院長・副教授 <b>中国における環境アセス訴訟の動向</b>
<b>報告 4</b>	詹 順貴 11:30-12:10 (40分)	台湾 行政院環境保護署 副署長 <b>台湾における環境アセス訴訟の動向</b> *中日逐次通訳 李明芝(大阪大学大学院法学研究科 博士後期課程 日本学術振興会 特別研究員)
	12:10-12:40 (30分)	<b>Q &amp; A ディスカッション</b>
	12:40-14:00 (80分)	昼食休憩
<b>司 会</b>	松本 充郎 西島 和	大阪大学大学院国際公共政策研究科 准教授 弁護士, 日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会 委員
<b>報告 5</b>	チャクリット・シッティウエイ 14:00-14:20 (20分)	タイ タマサート大学法学部 講師 <b>タイにおける環境アセス訴訟の動向</b>

<b>報告 6</b>	リカ・ファジュリニ 14:20-14:40 (20分)	インドネシア環境法センター 土地・森林部門長 インドネシアにおける環境アセス訴訟の動向
<b>報告 7</b>	ローズ=リサ・エイスマ=オソリロ 14:40-15:00 (20分)	フィリピン セブ大学法学部 教授 フィリピンにおける環境アセス訴訟の動向
<b>報告 8</b>	リトウィック・ドゥッタ 15:00-15:20 (20分)	インド 森林環境リーガルイニシアティブ 環境弁護士 インドにおける環境アセス訴訟の動向
	15:20-15:50 (30分)	Q & A ディスカッション
	15:50-16:20 (30分)	コーヒーブレイク
<b>総合討論</b>		
<b>司会</b>	大塚 直 高村 ゆかり 16:20-18:20 (120分)	早稲田大学法学部 教授 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 総合討論・総括
	18:20-18:30 (10分)	記念撮影
	18:30-20:00 (90分)	レセプション (会場 アセンブリーホール)